

# 平成24年度会務・会計報告

## 平成24年度幹事長報告

平成24年度日本弁理士クラブ幹事長 水野勝文

### 1. はじめに

1月末で、無事、日本弁理士クラブ幹事長の任期を全うすることができました。

これも皆様のご支援・ご協力のおかげであり、心より感謝申し上げます。

特に、副幹事長の（PA）中野圭二、（春秋）大澤豊、（南甲）高橋大典、（稲門）細田浩一、（無名）村上晃一、の5人の先生、政策委員長の（春秋）西島孝喜先生には、幹事会の幹事の先生方の中でも想像を越えて大きな負荷を引き受けて頂きました。想定外だったとはいえ、正副幹事長会等の会合の多さには閉口されたに違いありません。本当にありがとうございました。

### 2. 日本弁理士会執行部のサポート

スタート直後には、日本弁理士会の次年度人事検討委員会の活動が本格化しました。新執行部の要望に応えるべく、日本弁理士クラブを構成する各会派と西日本弁理士クラブ、弁理士クラブ、弁理士同友会、東海協議会、には本当にお世話になりました。弁理士を取り巻く仕事環境がますます厳しくなっている中、「今年は勘弁してほしい」との返事の所属会員も少なくなかったことは想像に難くありません。しかし、最終的には執行部の要望に応える推薦ができました。感謝申し上げます。

また、執行部からの意見聴取にも、政策委員会をはじめとして、適切・迅速に対応して頂きました。

### 3. 日弁の運営

とりわけ昨年度は、イレギュラーなことも少なからず、様々な形での会員のサポート無くしては運営

できなかつたでしょう。

日弁全体の運営を担う幹事の皆さんは特に大変でした。協議委員会の委員の皆さんも難しい協議となり、各々ご苦勞されたことと存じます。

政策委員会、会報委員会、ホームページ委員会、研修委員会の皆さんも、イレギュラーな事態に迅速・的確に対応下さり、本当にありがとうございました。結果としては、お陰様で、いずれも無事に進めることができました。

### 4. 選挙

平成24年度は日本弁理士会の会長選挙の年で、日本弁理士クラブとしても早期に会長候補を決定し、他派との話し合いに入りたいと考えていました。また、弁理士の経営環境が悪化している中、副会長選挙、常議員選挙を念頭に、できるだけ選挙活動の負担を会員に掛けたくないとも考えていました。

そのため、協議委員会も早期に立ち上げて、早め早めに動き、種々のイベントもこれに合わせて計画していたのです。

ところが、早々に考えを表明していたことが裏目に出て隙を生み、結果として選対関係者の皆さんに負担をかけたのではないかと反省しています。もっと秘密裏に慎重に進めていれば、状況は変わっていたかもしれません。対抗立候補者の情報も掴めず、不意を衝かれてしまいました。

協議委員会においても協議は順調には運ばず、最終的には、日本弁理士クラブ内での会長候補擁立を断念することとなりました。

その後紆余曲折を経て、西日本弁理士クラブ、弁理士連合クラブと共に、現会長の古谷史旺先生を推薦することとなりました。

弁理士法改正問題など、困難な問題が山積みですが、マニフェストの実現に向けて突き進んで頂きたいと思います。

## 5. 最後に

困難な時代ではありますが、責任会派である日本弁理士クラブとしては、今後共、日本弁理士会の運営に協力し、支えていかなければなりません。

関係各位のご支持・ご支援に本当に感謝申し上げます。

本年度の伊丹勝幹事長と渡邊敬介政策委員長は、お二人共、様々な事情に明るい、相応しい先生方です。

私同様、ご支援・ご協力・ご支持を下さいますよう、よろしくお願い申し上げます。

以上



## 平成24年度 日本弁理士クラブ 政策委員会活動報告

平成24年度政策委員  
西島 孝喜

平成24年度の日本弁理士クラブ政策委員会の報告をいたします。

### 1. 委員会の構成

24年度の政策委員会は以下のメンバーによって構成されました。担当副幹事長は、大澤豊先生(春秋)です。

政策委員長	春秋	西島	孝喜
副委員長	PA	萩原	康司
	春秋	青木	篤
	南甲	金本	哲男
	稲門	小西	恵
	無名	高松	俊雄

委員	PA	藤谷	史朗
		林	篤史
	春秋	小塚	敏紀
(庶務)		高城	貞晶
	南甲	井上	春季
		宮永	栄
	稲門	大貫	敏史
		窪田	稚之
	無名	神田	正義
(書記)		石原	進介 (敬称略)

### 2. 委員会活動について

24年度は会長選挙が行われました。この関係で、日弁から会長候補を出そうとの動きがあったため、日弁政策委員会としての政策提言に向けての委員会活動は差し控えておりました。日弁からの会長候補の政策と干渉した場合、混乱が生じる可能性があると考えたからです。そして、日弁からの会長候補が確定した場合には、日弁として政策を纏め、日弁会長候補の政策と整合させつつ、政策提言を行う計画

を立てておりました。しかし、最終的に日弁から独自の会長候補を出すことはかなわず、他の会派からの会長候補を推薦することとなりました。

この間、政策委員会の活動は専ら、役員会から日弁を含む各会派に出されて意見募集に対する意見を纏める活動を行ってきました。

#### 第1回委員会（4月16日）

会令「特許出願等復興支援規則」制定案および特許出願等復興支援規則施行細則案、平成24年度事業計画案に対する意見募集について鈴木、長濱副会長より説明を受け、議論しました。

この議論に基づき、4月20日付けで日弁としての意見を提出しました。

#### 第2回委員会（6月14日）

役員会からの「日本弁理士会の使命を改めて考える」（7月31日期限）にかかる意見募集について議論いたしました。議論の結果、この意見募集にかかる意見集約に当たっては役員会の意向を再度確認する必要があるとの結論にいたり、役員会に対する質問状を作成し役員会に提出いたしました。

#### 第3回委員会（7月18日）

上記「日本弁理士会の使命を改めて考える」の意見募集に対する日弁製作委員会からの上記質問状に対して長濱副会長から回答をいただきました。この回答を踏まえて再度この意見募集にかかる議題について議論いたしました。その委員会の後も多数の委員から意見がだされました。これを踏まえて、7月31日付けで日弁として「日本弁理士会の使命を改めて考える」に対して意見を提出いたしました。

第3回委員会の後、8月3日付けで「会員への情報提供・通知の見直し案」についての意見募集が9月3日の期限で役員会から届きました。この件につきましてメールにて委員からの意見を集約して、日弁としての意見を9月3日に提出いたしました。

#### 第4回委員会（9月26日）

日弁幹事会からの諮問事項「日本弁理士クラブに

おける日本弁理士会会長候補の決定方法」について議論いたしました。日弁からの会長候補を結果的に決定することができなかったことに至った原因について議論いたしました。これについては、日弁の体質、及び弁理士会、弁理士を取り巻く状況変化等を踏まえ大局的な観点から継続して検討することになりました。

#### 第5回委員会（11月22日）

幹事会からの諮問事項「日本弁理士クラブにおける日本弁理士会会長候補の決定方法」について、「日本弁理士クラブのあり方」について及び臨時総会に向けての日弁の対応について議論いたしました。

24年度の弁理士界の状況をみると、今こそ日弁内外の弁理士の「和の輪」を構築することが大切になっている気がします。

なお、幹事会からの諮問事項に対する答申書を作成いたしましたので添付いたします。

答申書

平成25年1月17日

日本弁理士クラブ 平成24年度幹事長  
水野 勝文 様

政策委員長 西島 孝喜

#### 諮問事項

「日本弁理士クラブにおける日本弁理士会会長候補の決定方法」について

答申

#### （1）問題の所在

日弁内で複数の候補者が推薦されている場合は候補を一本化するという調整でよいため問題はないと考えられるが、ある会派から一人の候補が推薦された場合において、他の会派が推せないという場合が問題である。

## (2) 日弁と各構成会派との関係について

日弁は構成会派5派から成る言わば二重構造の組織になっている。しかし、各構成派閥の意見を日弁全体の意見としてどのように集約するのかについて明確にされていない。すなわち、全会一致の原則なのか、多数決で決定するのか、その他の原則によるものか等について不明確である。このことも今年の事態が生じた背景にあると考えられる。この場合、構成会派が意見を表明する前提として「和を以て尊しとなす」の精神で、各構成会派は、お互いに紳士の集まりであるという意識を持って日弁に臨む必要がある。

しかし、今年発生したような不測の事態を回避するためには、日弁の方向性を決定するための明確な基準を日弁内に設けることが必要である。

## (3) 協議委員会の役割について

これまで影響力のある人が協議委員長になってきたことにより、委員長へ依存が過剰になる傾向があった。加えて、今年の協議委員会では、当初一人の候補のみが推薦された状態が生じたので、その状態で選挙が行われることになるとの雰囲気が生じた。

しかし、今年のように一旦名前の出た候補者が辞退することにより候補者不在となった場合であっても、日弁として会長候補を出す一旦決めた以上、その趣旨を踏まえて行動することが合理的であると考えられる。すなわち、たとえ状況の変化により候補者不在の状態が生じても、日弁として今回は会長候補を出す決めて以上、協議委員会は、その趣旨に沿って候補者選びを追求する必要があった。

その後の候補者選定手続において、会派が日限を守らなかったことについては、その原因を調査し、構成会派の表面化していない事情を把握し、日弁として方向性を見いだす努力をする必要があった。

別の観点で、候補者が不在の場合に協議委員会に何ができるかについて考える必要がある。

今回の日弁からの会長候補選びの過程で、第1回拡大協議で今年は日弁から出すということで一応の合意を見た。このことは複数の会派が候補者を出す可能性を模索していたことによる。しかし、候補者

を出すことについての背景や理由としては成熟したものではなかった。しかも、最近の協議委員会は各会派から複数の候補者が推薦された場合に単一の候補者を選定すること、候補者が一人の場合はその是非を判断することを専ら念頭において活動しており、いわば調整役であって、各会派からの候補者推薦がない場合に積極的に動くことのできる組織ではなかった。したがって、協議委員会が「今年は日弁から出す」と高らかに決めてしまったこと自体に問題があったのかもしれない。

今回の事態について日弁内部の組織である協議委員会の役割といったレベルの議論で終わるのではなく、日弁全体としてどうすべきであったかという観点から議論をする必要がある。

協議委員長および協議委員会の役割が日弁規約上不明確であることが混乱を生じさせる原因にもなっている。

## (4) 幹事会の役割について

日弁事業計画には、委員会の活動についても記載されることになっており、その年度の行動計画については、結局は幹事会が責任をもつことになると考えられる。

今年のように一旦名前の出た候補者が辞退することにより候補者不在となったときに、協議委員会の責任で候補者を決めるとなるとその任務は過大である。今年のような不測の事態が生じた場合には、幹事会が主導して、協議委員会と連携しつつ、当初の意向に沿って新たな候補者の選任に向けて行動することが必要である。

## (5) 相談役会の役割について

日弁の相談役について会則運用基準8条に記載されているが、今回の事態において相談役会がどのような役割を果たしたかが明確でない。

幹事会が招集しないと相談役会は開かれなないとされているが、相談役は影響力のある人によって構成されているので、相談役会との情報交換の密度を高め、その提言を積極的に活用する必要があった。



#### (6) 会派からの会長候補推薦基準について

日弁からの会長候補選任において候補の適格性に対する明確な考え方を構成会派がそれぞれ共有する必要がある。特に、最近の弁理士会の状況においては、日弁推薦の会長候補が必ずしも勝てるわけではないとの見方がある。過去の会長選挙において、日弁が擁立した候補が負けたこともある。しかし、今回の選挙は結果的には、組織力の勝利となり、組織力を活用することの重要性が示された。ただし今回の選挙では、投票率が低かったこと、無会派の票が分散したことも影響している、とも考えられる。

#### (7) 協議委員会の議論の透明性について

日弁の慣習として、一旦名前が出た一人のみの候補について、後にその候補を下ろしたことは最近では例がない。しかし、協議委員会において候補の名前をあげて議論することの是非について会派によって考え方が大きく異なっており、議論の内容が不透明になり、不明確になる。

日弁の方向性を決定するために水面下での議論が重要な場合がある。協議委員会の外への守秘義務を担保すること、及び名前のあがった候補の将来的な可能性を否定しないことを前提として協議委員会ではもっとオープンに情報を交換する環境をつくる必要がある。少なくとも協議委員会の出席者全員が共有する情報に基づいて議論をする必要がある。

#### (8) 日弁の役割・目的について

日弁を構成する会派および会員の間で認識を共有する必要がある。

日弁が親睦団体のような性格であるならば、会長選挙における統一候補を擁立するか否かについても、可能であれば擁立し、合意できなければ各会派や各構成員がそれぞれの会派の意向に沿って行動することも容認すべきである。その場合には、この答申自体も不要となる。

しかし、各構成会派の声を弁理士会の運営に反映させ、弁理士会の発展に貢献するために日弁が存在すべきというのであれば、弁理士会役員候補、とりわけ会長候補選任は、日弁の目的達成のために極めて重要である。

#### (9) 「会長候補選定ルール」作成について

日弁は候補者選定を一つの目的とすることの明確化、及び、選定基本ルールの作成が必要である。「会長候補選定ルール」を誰が作り、どのプロセスで承認するか、担当部門、プロセスを決定することも必要となる。

#### (10) 決定遵守の申し合わせ

さらに、会派間の意見が相違したとき、意見を集約するためのルール作成およびそのルールの強制適用についての合意が必要である。 以上



## 選挙対策委員会 (協議委員会) 報告

委員長 杉村 純子

平成24年度協議委員会は、前期と後期の2部構成となりました。以下の通りご報告申し上げます。

### 1. 委員会の構成

#### (1) 前期 (3月～7月)

協議委員長 (無名) 筒井 大和  
副委員長 (南甲) 河野 誠  
(PA) 福田 伸一  
(春秋) 紺野 昭男  
(無名) 高橋 俊一  
(稲門) 杉村 純子

委員 (南甲) 中村 仁 津田 理  
(PA) 伊東 忠重 谷崎 政剛  
(春秋) 小山 輝晃 岩永 和久  
(無名) 高松 俊雄 鶴目 朋之  
(稲門) 榎本 英俊 西村 公芳

#### (2) 後期 (9月～)

協議委員長 (稲門) 杉村 純子 (9月5日就任)  
(第一・第二協議委員会合同委員長)

副委員長 (南甲) 中村 仁/河野 哲  
(PA) 村田 実/福田 伸一  
(春秋) 小宮 良雄/紺野 昭男  
(無名) 高橋 俊一/高松 俊雄  
(稲門) 杉村 純子/杉村 純子

委員 (南甲) 津田 理/須藤 浩  
(PA) 福田 伸一/伊東 忠重  
・ 谷崎 政剛  
(春秋) 紺野 昭男/橋本 清  
(無名) 鶴目 朋之/鶴目 朋之  
(稲門) 西村 公芳/榎本 英俊  
(※第一協議委員会/第二協議委員会)

### 2. 審議結果

(1) 副会長候補者として下記の会員の推薦を決定した。

08762 高梨 範夫 (PA)  
09526 小島高城郎 (無名)  
09975 青木 篤 (春秋)  
12023 石橋 良規 (南甲)

(2) 常議員候補者として、下記の会員の推薦を決定した。

#### ① 関東選挙区

07416 広瀬 文彦 (南甲)  
08005 西郷 義美 (春秋)  
08782 八木 秀人 (無名)  
09530 橋本千賀子 (PA)  
09857 香原 修也 (無名)  
10509 山崎 薫 (稲門)  
11478 高城 貞晶 (春秋)  
11530 岩永 和久 (春秋)  
12365 坂野 博行 (PA)  
12836 神藏初夏子 (南甲)  
12839 服部 秀一 (南甲)  
12849 出野 知 (春秋)  
14404 坂本 智弘 (PA)

#### ② 東海選挙区

10828 小林 洋平 (春秋)  
11253 伊藤 浩二 (南甲)

(3) 監事候補者として、下記の会員の推薦を決定した。

07869 久保 司 (南甲)  
08196 木内 光春 (稲門)  
08869 弟子丸 健 (春秋)

(役員種別ごとに弁理士登録番号順、括弧内は所属会派)

### 3. 選挙の結果

#### (1) 日弁候補者

##### ① 副会長選挙 投票当選

(当選人の決定 平成24年11月1日/平成24年11月5日/平成24年11月14日)

副会長選挙は、選任数8名のところ、10名の立候補があったが、日本弁理士クラブ推薦の上記会員4名は全員当選を果たした。

② 常議員選挙 無投票当選 (当選人の決定 平成24年10月1日)

③監事選挙 無投票当選（当選人の決定 平成24年10月1日）

(2) 共同推薦候補者

会長選挙 投票当選（当選人の決定 平成24年11月1日/平成24年11月5日/平成24年11月14日）

会長選挙は、選任数1名のところ、3名の立候補があったが、日本弁理士クラブが共同推薦した古谷史旺会員（弁理士連合クラブ所属、西日本弁理士クラブ共同推薦）が当選を果たした。

4. 当選者祝賀会

平成24年12月12日

東海大学校友会館 望星の間

90名を超える参加者があり、盛大な祝賀会となった。

5. 補足説明

平成24年度は、当委員会は前期と後期との2部体制となった。

前期では、会長候補者を日本弁理士クラブより推薦することが審議されたが、結局推薦する結果にいたらなかった。7月上旬に筒井大和協議委員長（前期）が委員長を辞任された。その後、8月に開催された協議委員会にて、日弁として会長立候補者推薦をどのようにするかということは、幹事会に委ねられることとなった。幹事会にて日弁として、弁理士連合クラブの古谷史旺会員を会長立候補者として共同推薦することが決定され、協議委員会にその旨の報告があった。副会長候補者、常議員候補者及び監事候補者を日弁として審議決定するため、9月5日に協議委員長を弊職が拝命することとなり、後期協議委員会が発足し、日弁からの副会長候補者、常議員候補者及び監事候補者が上記のように審議決定された。会長候補者の古谷史旺会員とともに、日弁からの役員候補者全員の当選をめざし、協議委員会が選挙対策委員会に切り替わって選挙戦を迎えることとなった。常議員候補者及び監事候補者は無投票当選となったが、会長及び副会長は投票選挙となり、壮絶な選挙戦が繰り広げられ、日弁推薦の副会長候補者4名は無事当選を果たした。また、日弁が共同推薦した古谷史旺会員も無事当選を果たした。

最後に大変なご努力を頂いた日弁幹事長及び幹事会をはじめ、壮絶な選挙戦を一丸となって勝ち抜いた協議委員会の先生方に改めて御礼申し上げます。

9月にバトンを引き継ぎましたが、不慣れなところもあり、至らなかったところも多くあったと思いますが、庶務の鶴目先生や榎本先生をはじめ、協議委員会の皆様に助けられて熾烈な選挙戦を乗り切ることができました。心より感謝申し上げます。また、前期委員長の筒井大和先生に心より敬意を表します。

以上

平成25年度役員定時選挙開票結果  
(日本弁理士会HPより)

平成24年11月1日

選挙管理委員会  
委員長 西 良久

平成25年度役員定時選挙開票結果（会長）

平成25年度役員定時選挙の開票結果（会長選挙）は以下のとおりです。

開票日	平成24年11月1日（木）		
開票所	弁理士会館 3階会議室		
開票結果	会長選挙	候補者氏名(届出順)	得票数
		古谷史旺	3159
		正林真之	937
		奥山尚一	1962
		無効票	29
		白票	70
		合計	6157
		投票率	63.8%

以上

平成24年11月1日

選挙管理委員会  
委員長 西 良久

平成25年度役員定時選挙開票結果（副会長）

平成25年度役員定時選挙の開票結果（副会長選挙）は以下のとおりです。

開票日	平成24年11月1日（木）		
開票所	弁理士会館 3階会議室		
開票結果	副会長選挙	候補者氏名(届出順)	得票数
		石川 憲	520
		田中達也	743
		石橋良規	763
		青木 篤	670
		高梨範夫	519
		富澤 孝	503
		小島 高城郎	541
		赤川 誠一	507
		西出真吾	680
		長瀬 範明	563
		無効票	33
		白票	115
		合計	6157
	投票率	63.8%	

以上



## 平成24年度 日本弁理士クラブ 研修委員会報告

研修委員長 渡 邊 伸 一

平成24年度研修委員会につきまして、下の通りご報告いたします。

### 1. 開催回数

研修委員会 1回

研修会 8回

### 2. 委員会の構成

委員長 渡邊 伸一 (P A)

副委員長 藤沢昭太郎 (南甲)

委員 青島 恵美 (P A)

市原 政喜 (P A)

野田 裕子 (P A)

田中 祐 (春秋)

中村 祥二 (春秋)

小川 雅也 (南甲)

高田 伸一 (無名)

榊田 剛 (無名)

佐藤 馨 (稲門)

### 3. 研修内容

#### (1) 特定侵害訴訟代理業務試験対策研修

特定侵害訴訟代理業務試験対策として、以下の研修会を行いました。

#### ①過去問解析講座

日 程：2012年7月12日、7月19日、7月26日、  
8月2日、8月9日

会 場：飯田橋レインボービル

講 師：弁護士、弁理士 石神恒太郎先生（青和  
特許法律事務所）

内 容：

第1回 ①特定侵害訴訟代理業務試験のポイント  
(侵害訴訟の要件事実について)

②平成18年度第1問解説

第2回 平成20年度第1問、第2問解説

第3回 平成22年度第1問、第2問解説

第4回 平成23年度第1問、第2問解説

第5回 ①平成18年度第2問解説

②過去問の傾向と試験対策

受講者数：約55人

#### ②模擬試験

日 程：2012年9月4日、9月18日、9月25日、  
10月9日

会 場：弁理士会館

講 師：弁護士、弁理士 坂田洋一先生（小林・  
弓削田法律事務所）

内 容：

第1回 特許法関連模擬試験1問

第2回 商標・不正競争防止法関連模擬試験1問

第3回 小問、第1・2回の模擬試験結果講評 等

受講者数：約35名

以上



## 会報委員会報告

委員長 太田 昌孝

平成24年度会報委員会につきまして、下記の通りご報告申し上げます。

### 1. 委員の構成

委員長	太田 昌孝 (春秋)
委員	岡田 光宗 (春秋)
	西澤由美恵 (春秋)
	野田 裕子 (P A)
	伊藤 隆治 (P A)
	服部 秀一 (南甲)
	乙部 孝 (南甲)
	坂次 哲也 (無名)
	工藤 貴宏 (無名)
	大國 寿香 (稲門)
	志摩美裕貴 (稲門)
担当副幹事長	大澤 豊 (春秋)

### 2. 活動内容

#### (1) 会報「日弁」の発行

発行部数：2,640部

内訳 春秋：880部

P A：830部

南甲：430部

無名：300部

稲門：200部

発送：11月5日に各会派へ発送

#### (2) ホームページ委員会への情報提供

11月13日にホームページ委員会委員長に送付

### 3. 会合

8月2日に開催。

その後は、電子メールを用いて作業を進めた。

以上

## ホームページ委員会報告

委員長 岩見 晶啓

平成24年度のホームページ委員会の構成及び活動内容について、次の通り報告いたします。

### 1. 委員の構成

委員長	岩見 晶啓 (P A)
委員	河野 生吾 (南甲)
	林 篤史 (P A)
	山崎 貴明 (春秋)
	山田 勉 (無名)
	中野 寛也 (稲門)

### 2. 会合及び審議内容

開催日時：平成24年4月18日 午後6:30～8:30

場所：弁理士会館 B1-A会議室

議事：

- (1). 幹事長挨拶、出席者紹介、事業計画
- (2). 日弁メルマガの発行方針等
- (3). ホームページのメンテナンスの方法
- (4). 日弁メルマガの宣伝・周知方法

### 3. ホームページ委員会の活動報告

- ・日弁メルマガの発行 (48通) 内訳は以下の通り。
- ・ホームページへの幹事長就任挨拶および退任挨拶
- ・日弁の活動の報告や種々企画の紹介
- ・日本弁理士クラブ主催の研修会の案内
- ・各会派で主催する研修会等の案内
- ・弁理士試験受験生向けに、5会派の口述模試情報をまとめて配信
- ・日弁会報 (第36号) の掲載
- ・日弁メルマガのHP掲載 (メルマガ発行から約1ヶ月後)
- ・ホームページのメンテナンス (随時)
- ・日弁メルマガの読者増加のための活動 (各会派のイベントで、日弁メルマガの購読を促すビラを配るなど)

## 平成24年度会合行事記録

平成24年度副幹事長 村 上 晃 一

月	総会・例会・行事	幹事会	相談役会	委員会	その他
平成24年 2月		2/1 第1回			
3月		3/5 第2回		3/5 第1回協議 3/29 第2回協議	3/16 東海協議会 役員慰労会・激励会 西日本弁理士クラブ 役員労会・激励会
4月	4/26 第1回定期総会	4/2 第3回		4/16 第1回政策 4/18 第1回研修 4/18 ホームページ	
5月		5/7 第4回		5/14 第3回協議	
6月	6/16-17 旅行会 (熱海「大観荘」) 6/17 ゴルフ大会	6/11 第5回	6/7 第1回	6/4 第4回協議 6/14 第2回政策	
7月		7/2 第6回		7/2 第5回協議 7/17 第6回協議 7/18 第3回政策	7/14-15 西日本弁理士クラブ旅行会
8月				8/2 会報 8/28 第7回協議	
9月		9/3 第7回 9/19 第8回	9/18 第2回	9/5 第8回協議 9/19 第9回協議 9/25 第1回選対 9/26 第4回政策	
10月				10/12 第2回選対	
11月		11/5 第9回		11/22 第5回政策	
12月	12/12 役員選挙当選 祝賀会 12/17 ボーリング大会	12/3 第10回 12/12 第11回 12/18 第12回			
平成25年 1月	1/11 第2回定時総会 新年会 1/19 テニス大会	1/7 第13回			

#### 4. 日弁メルマガの発行方針

日弁シンパを増やすこと（日弁という組織を少しでも身近に感じてもらうこと）を目的とし、また当委員会委員の作業負担が重くならないようにするため、以下の記事を中心に発行した。

- ・日弁の活動の報告や種々企画の紹介（日弁副幹事長）
- ・構成会派の紹介や会派での企画の紹介（各会派のHP委員が2回ずつ執筆）

#### 5. 最後に

日弁シンパを増やすためには、定期的にメルマガを配信するなどして、日弁の活動を知ってもらう努力が必要です。地道な作業ではありますが、続いていくことが大事だと思います。このような趣旨に賛同していただき、日弁メルマガの継続的な発行にご協力していただいた平成24年度の幹事長・副幹事長の先生方やHP委員の先生方に感謝申し上げます。

以上

## 平成24年度 総会承認事項

平成24年度副幹事長 村 上 晃 一

#### 第1回総会

日時：平成24年4月26日（木）午後6時30分

会場：弁理士会館2階A、B会議室

- (1) 平成23年度日弁事業報告の承認を求める件について、賛成多数により承認された。
- (2) 平成23年度日弁決算報告の承認を求める件について、賛成多数により承認された。
- (3) 平成24年度日弁度事業計画の承認を求める件について、賛成多数により承認された。
- (4) 平成24年度日弁予算の承認を求める件について、賛成多数により承認された。
- (5) 平成25年度日本弁理士会役員推薦および平成24年度日弁役員選任の承認を求める件について、幹事会一任とすることで、賛成多数により承認された。

#### 第2回総会

日時：平成25年1月11日（金）午後5時15分

会場：東商スカイルーム ルビールーム

- (1) 平成25年度日本弁理士クラブ幹事長選任の件について、伊丹勝会員を選任することにつき、賛成多数により承認された。
- (2) 平成25年度日本弁理士クラブ政策委員長選任の件について、渡邊敬介会員を選任することにつき、賛成多数により承認された。
- (3) 平成25年度日本弁理士クラブ副幹事長、幹事及び会計監事選任の件について、平成25年度幹事長に一任することにつき、賛成多数により承認された。
- (4) なお、報告事項として「平成24年度会務中間報告」及び「平成24年度会計中間報告及び会計監査中間報告」が行われた。

以上



## 平成24年度会計報告

平成24年度会計担当副幹事長  
細田 浩一

平成25年度第1回日弁総会におきまして平成24年度会計報告が承認されましたので、以下の通りご報告申し上げます。

下記表に示す通り、前年度からの繰越金(6,373,947円)に比べ次年度繰越金(8,009,449円)は1,635,502円の増加となりました。しかし一方で、特定侵害訴訟代理業務試験対策の研修会開催に係る収支差額(今年度の収支差額493,897円=参加費等収入2,405,159円-研修委員会支出1,911,262円)が近年は減少傾向にありますので、過剰支出をすることなく、引き続き活動資金を有効に活用していくことが重要と考えます。

なお、過去の会計報告を見ますと、旅行会や相談役会などの会計項目に関し、収入から支出を差し引いた差額の会計収支のみが報告されておりましたが、差額だけでは活動の規模を把握しにくいと考えて、本年度は収入と支出の絶対額を明示するように致しました。但し、ゴルフ・ボウリング・テニス大会といった項目(これらは補助金として予算立てされております。)については、従来通り、補助金として支出した金額のみを記載しております。

支出の部	実績額	予算額
例会・総会	16,800	(200,000)
幹事会	114,080	(400,000)
会報委員会	826,140	(1,000,000)
協議・選対委員会	1,340,905	(4,000,000)
政策委員会	52,782	(200,000)
HP委員会	78,225	(200,000)
研修委員会	1,911,262	(100,000)
規約委員会(休会)	0	—
相談役会	82,920	(200,000)
旅行会	2,836,581	(700,000)
旅行会ゴルフ大会補助	69,230	(50,000)
新年会	1,405,456	(250,000)
ボウリング大会補助	50,000	(50,000)
テニス大会補助	50,000	(50,000)
庶務	14,781	(150,000)
慶弔費	96,651	(150,000)
渉外・交通	180,000	(500,000)
幹事長渉外費	224,570	(400,000)
予備費	0	(73,947)
次年度活動準備費(次年度繰越金)	8,009,449	(200,000)
合 計	17,359,832	(8,873,947)

(単位:円)

収入の部	実績額	予算額
前年度会計からの繰越金	6,373,947	(6,373,947)
各クラブ分担金	2,500,000	(2,500,000)
参加費等(旅行会)	2,065,000	
参加費等(新年会)	1,128,000	
参加費等(相談役会)	72,000	
当選祝賀会参加費等(協議・選対委員会)	2,815,000	
研修会参加費等(研修委員会)	2,405,159	
利息	726	
合 計	17,359,832	(8,873,947)

# 平成24年度 日弁ボウリング大会 報告

平成24年度ボウリング大会担当副幹事長 細田 浩一

平成24年12月17日（月）に、毎年恒例のボウリング大会が開催されました。

大会ルールは、参加者全員が3ゲームを投げて、個人のスコアと各チームのスコアを競うというものです。団体戦の優勝チームは春秋会、個人戦の優勝者は佐藤辰彦先生（春秋会）と、春秋会の独壇場ともいえる結果に終わりました。

## ☆当日のスケジュール

18時28分 水野勝文先生（日本弁理士クラブ幹事長）による始球式

18時30分 ゲーム開始（1人3ゲーム）

20時00分 懇親会開始（中華料理＋飲み放題）

21時30分 閉会の辞（担当副幹事長 細田浩一より）

～解散（任意で二次会、三次会など…）

## ☆大会の結果（敬称略）

### ■団体戦（各会派上位6名の3ゲームトータルスコア）

- ・優勝 春秋会 2790
- ・2位 南甲弁理士クラブ 2623
- ・3位 P A会 2602
- ・4位 無名会 2455
- ・5位 稲門弁理士クラブ 2325

### ■個人戦（3ゲームトータルスコア）

- ・優勝 佐藤辰彦（春秋） 561
- ・2位 三上 結（P A） 518
- ・3位 篠田卓宏（P A） 496
- ・4位 竹山尚治（無名） 482
- ・5位 磯田志郎（春秋） 474
- ・6位 中尾俊輔（春秋） 469
- ・7位 窪田稚之（稲門） 463
- ・8位 小川雅也（南甲） 460
- ・9位 秋友 徹（P A） 454

- ・10位 細田浩一（稲門） 449
- ・15位 大塚啓生（南甲） 432
- ・20位 津田 理（南甲） 416
- ・25位 菅原峻一（稲門） 391
- ・30位 高林芳孝（無名） 355
- ・35位 岩壁冬樹（春秋） 326
- ・BB 浅村 皓（P A） 264

### ■レディース部門（3ゲームトータルスコア）

- ・優勝 玉利房枝（春秋） 424

### ■ハイゲーム賞（1ゲームスコア）

- ・1位 佐藤辰彦（春秋） 220
- ・2位 三上 結（P A） 206
- ・3位 窪田稚之（稲門） 202

### ■大波・小波賞（ゲーム間の得点差）

- ・大波賞 窪田稚之（稲門） 75
- ・小波賞 浅村 皓（P A） 2



## 平成24年度 日弁テニス大会 報告

平成24年度テニス大会担当副幹事長 細 田 浩 一

平成25年1月19日（土）の朝9時半から、品川プリンスホテル高輪テニスセンターにてテニス大会が開催されました。試合形式は例年通り、日弁各会派1チームずつの合計5チームによる団体戦でした。担当副幹事長である私は、日弁会計からの補助金を担当幹事の平山洲光先生（P A会）にお渡しする重要な役目を果たすため開会式に出席し、そのままプレイヤーとしても初参加させて頂きました。

大会は各チームの総当たり戦で勝ち点を競う形式にて進行し、本年度は南甲弁理士クラブが勝ち点26で優勝しました。私の所属する稲門弁理士クラブはあと一步及ばず、惜しくも準優勝に終わりました。参加者の皆様、お疲れ様でした。

テニスの試合は正午過ぎに終了し、午後は早々に懇親会が始まりました。テニスコートに隣接したカジュアルなカレーショップの美味しいランチビュッフェを堪能し、まだ陽の高いうちに解散となりました。

### ★大会参加者（敬称略）

P A会： 岡部 謙 岡部 典子 後藤 政喜  
田中 良太 田中 勲 岩永 勇二  
平山 洲光

南甲弁理士クラブ：早崎 修 金田 周二  
浅村 敬一 浅村 先生ご友人  
藤沢 昭太郎 瀧野 文雄

春秋会： 沼形 義彰 沼形 泰枝 中尾 俊輔  
出野 知

稲門弁理士クラブ：細田 浩一 窪田 稚之 岩田 啓  
木下 謙吾 清水 貴光 高橋 政治

無名会： 石川 勇介 小川 英宜 中里 卓夫  
土井 健二

以上

### ☆大会の結果（勝敗表）

	稲門	南甲	P A	春秋	無名	勝敗		順位
						勝ち点	勝点	
稲門		5-3	3-5	6-3	4-4	5勝2敗1分	20	2
		0-6	5-4	6-2	5-3			
		計 5-9	計 8-9	計 12-5	計 9-7			
		<b>3</b>	<b>3</b>	<b>8</b>	<b>6</b>			
南甲	3-5		6-0	6-0	6-4	6勝2敗0分	26	1
	6-0		3-4	6-1	5-4			
	計 9-5		計 9-4	計 12-1	計 11-8			
	<b>5</b>		<b>5</b>	<b>8</b>	<b>8</b>			
P A	5-3	0-6		6-2	2-6	4勝4敗0分	16	4
	4-5	4-3		6-0	0-6			
	計 9-8	計 4-9		計 12-2	計 2-12			
	<b>5</b>	<b>3</b>		<b>8</b>	<b>0</b>			
春秋	3-6	0-6	2-6		1-6	0勝8敗0分	0	5
	2-6	1-6	0-6		0-6			
	計 5-12	計 1-12	計 2-12		計 1-12			
	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>		<b>0</b>			
無名	4-4	4-6	6-2	6-1		4勝3敗1分	18	3
	3-5	4-5	6-0	6-0				
	計 7-9	計 8-11	計 12-2	計 12-1				
	<b>2</b>	<b>0</b>	<b>8</b>	<b>8</b>				

